

講座テーマ

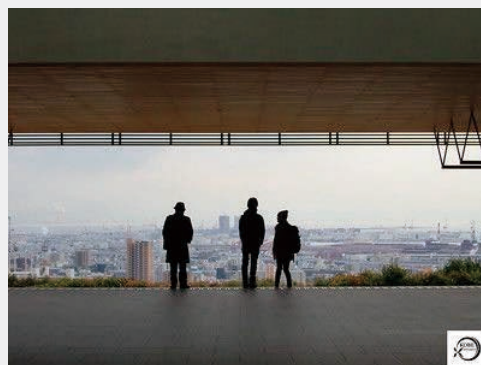
「日常と非日常のはざま」

今年度の文学部公開講座は、「日常と非日常のはざま」と題して4つの講義をお届けいたします。

2019 年以降、世界中で猛威をふるった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について、収束はまだ見通せないものの、日々の暮らしのなかで徐々に「日常」を取り戻しつつあります。しかし、未知の感染症と、それに対する防疫策として行われたロックダウンや行動制限によってもたらされた「非日常」は、いまなお私たちの「日常」に影を落としています。

また 2022 年には、ロシアがウクライナへと侵攻し、ウクライナで暮らす人びとの「日常」がまたたくまに奪われていきました。ウクライナやウクライナから逃れた人びとは言うまでもなく、ロシアや他の国々で暮らす人びとにも、さまざまななかたちで戦争という「非日常」が「日常」のなかに浸潤しています。

本年度の講義はこうした「日常と非日常のはざま」に直面する状況に対して、それぞれのアプローチから迫ってみたいと思います。現在、私たちが置かれた状況を俯瞰的に把握し、これからのことを皆さんとともに真摯に、多角的に考えてゆく、そうしたきっかけになればと願っています。



2022 年 10 月 1 日（土）

13:30-13:40 開講挨拶

文学部長 長坂 一郎

13:40-15:10 「自分を変えること」が難しいのはなぜか：『春にして君を離れ』をヒントに

講 師 安倍 里美

15:20-16:50 自分の世界のつくりかた：宋代文人の詩を読む

講 師 早川 太基

2022 年 10 月 8 日（土）

13:30-15:00 日本の古典受容史と戦乱の記憶

講 師 齋藤 公太

15:10-16:40 ソ連の対東欧軍事介入

准教授 藤澤 潤

※ 今年度の文学部公開講座は、対面形式と Web 会議システムの ZOOM を利用したオンライン形式を併用して開催します。ZOOM の利用方法については、文学部ウェブサイト（下記）の公開講座のページにマニュアルを掲載します。

※ 来場者へのお願い：感染予防のため、マスクを着用してください。発熱などの症状がある方は、来場をご遠慮ください。対面形式での開催については、次ページの備考もご確認ください。

※ 詳しい情報は文学部ウェブサイト（<http://www.lit.kobe-u.ac.jp>）の公開講座のページをご覧ください。

受講対象者：一般市民・学生 募集人数：対面 80 名、オンライン 150 名 受講料：無料

申込期間：2022 年 8 月 19 日（金）～9 月 22 日（木）（但し定員になり次第受付を終了します。）

申込方法：①オンライン参加希望（対面中止の場合含む）：文学部ウェブサイト（<http://www.lit.kobe-u.ac.jp>）の申込みフォームからお申し込みください（Zoom ミーティング URL を事前に送付するため）。②対面参加のみ希望：上記の申込フォームをご利用いただくか、次ページの受講申込書に必要事項を記入して、下記まで FAX、郵送またはメール添付でお申し込みください。

問い合わせ先：神戸大学大学院人文学研究科総務係

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

E-mail：lsoumu[at]lit.kobe-u.ac.jp （[at]は@に変更してください）

TEL：078-803-5591＜平日 8：30～17：15／土日祝を除く＞

知・人・共創と協働



- ☐大学からの案内送付
 ☐神戸大学のウェブサイト
☐募集要項を見て（場所）例：灘区役所、シルバーカレッジ等
☐その他（ ）